

表紙（必須）

1 募集区分	③原因調査に関する事例報告	
2 応募者の区分	(1) 消防職員・消防団員の部	
3 タイトル	〇〇〇〇〇〇の調査報告	
4 応募者	<ul style="list-style-type: none"> ・「所属」、「氏名」欄に所属と氏名を記入する。フリガナも書くこと。 ・応募者全員を記入すること。その際、主たる応募者を一番はじめに書くこと。 ・記入欄が足りない時は行を追加すること。 	
	フリガナ	フリガナ
	所属	氏名
主たる	マルマルショウボウホンブ	ショウボウタロウ
応募者	〇〇消防本部	消防 太郎
	マルマルショウボウホンブ	カサイシズエ
	〇〇消防本部	火災 鎮枝
	マルマルショウボウホンブ	ゲンバショウコ
	〇〇消防本部	現場 証拠
	マルマルショウボウホンブ	ハラダキュウメイ
	〇〇消防本部	原田 究明
5 受賞した場合の表彰状・副賞への表記	<ul style="list-style-type: none"> ・「4 応募者」に記入した所属・氏名以外の組織名、団体名や氏名等を表彰状・副賞に表記したい場合は、下の記入欄に記入してください。（フリガナも書くこと。） ・上記所属・氏名欄の通りで良い場合は、下の欄には何も記入しないでください。 <p>※詳しくは、「表紙の記入方法」を参照してください。</p>	
	マルマルショウボウホンブヨボウカチョウサカンシキ 〇〇消防本部 予防課調査鑑識	

6 他の公募等への応募状況

応募内容と関連した内容について、応募者が、学会等での発表、原稿の投稿、他の表彰への応募又は受賞をした場合は、以下の欄に記入してください。また、当該発表資料・原稿・応募書類等を、応募作品の末尾に添付してください。

[口頭発表]

- ・消防太郎、火災鎮枝、現場証拠、原田究明「〇〇〇〇の調査手法の提案」平成 24 年度調査技術会議（大阪会場）（2012 年 5 月 20 日）

[論文誌への投稿]

- ・消防太郎、火災鎮枝、現場証拠、原田究明「〇〇〇〇の調査手法の提案」『〇〇消防』〇〇市消防本部 Vol. 105pp. 13-18（2012. 8）

[受賞]

- ・〇〇市消防局長賞（2012）

消防太郎、火災鎮枝、現場証拠、原田究明「〇〇〇〇の調査報告」

7 連絡担当者

氏名	原田 究明
所属	〇〇消防本部 △△課
住所	〒182-8508 東京都調布市深大寺東町 4 丁目 35 番 3 号
Tel	0422-44-8331
Fax	0422-44-8440
E-mail	hyosho2013@fri.go.jp
(該当するものを残す)	勤務先

★アンケートにご協力ください

(これは事務運営に反映するための調査であり、作品の審査には一切影響しません。)

1. この表彰事業を何で知りましたか?該当するものを丸で囲んでください。

- ①消防署所での掲示を見て
- ②職場への案内で
- ③消防団からの案内で
- ④消防大学校で (_____ 科 第__期)
- ⑤消防研究センターのイベント等で (イベント名: _____)
- ⑥消防研究センターホームページを見て
- ⑦雑誌等に掲載された募集を見て (誌名: _____)
- ⑧その他 (_____)

2. 応募作品の完成までにどのくらいの期間を要しましたか?該当するものを丸で囲んでください。

- ①1か月～3か月
- ②4か月～半年
- ③半年～1年
- ④1年以上
- ⑤その他 (期間をご記入ください: _____)

3. 来年度も募集があれば、応募しますか?該当するものを丸で囲んでください。

- ①来年度も応募する
- ②来年度は応募しない (理由: _____)

ご協力ありがとうございました。

概要（必須）

1 タイトル	〇〇〇〇〇〇の調査報告
2 調査を行なった機関（協力した機関も含む） ----- 〇〇消防本部 □□警察署 □□県工業試験センター △△株式会社	
3 要旨 ----- 照明の配線から出火した火災。飲食店の玄関ホールに取り付けた照明の配線が発熱発火、断熱材に着火し、壁と天井の一部を焼損したものである。 現場見分で得た関係者の供述と、鎮火後の調査、現場から収去した物の鑑識見分から、出火元は照明の配線であると考えた。 照明メーカー、電気工事業者への聞き取りによって発火の可能性について裏付けを取り、さらに延焼プロセスを解明するために再現実験を行った。 その結果、現場と同じくシェード（本来の付属品でない）を使用した場合に、照明のソケット部分が発熱、発火し、壁裏の断熱材に着火することがわかった。 事後の対応として、管内の照明器具の業界団体を通じ、照明機器の設置と使用方法に関する注意喚起を行った。	

本文（必須）

タイトル	〇〇〇〇〇〇の調査報告
------	-------------

1. 火災の概要

.....

2. 見分

.....

3. 調査

.....

4. メーカーへの聞き取り

.....

5. 専門家による見解

.....

6. 再現実験

.....

7. 結論

.....

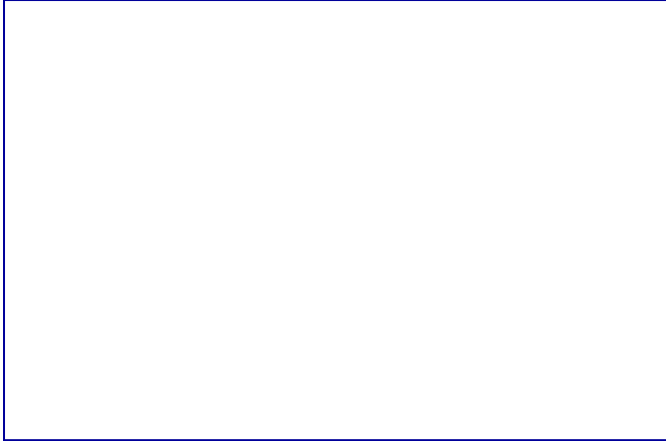
8. 再発防止のための措置

.....

図、表及び写真

(消防防災機器等の開発・改良のみ必須、他は任意)

※図、表及び写真には連番を振り、それぞれに説明書きを添えてください。



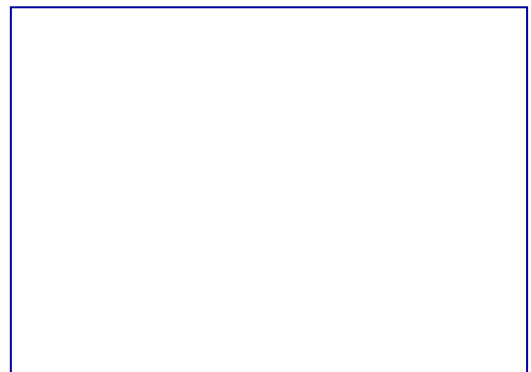
写真① 焼損状況 1 (全体)



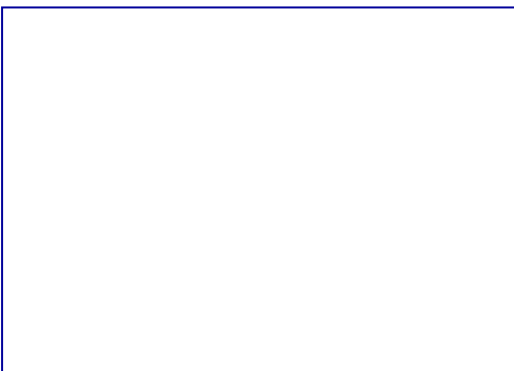
写真② 焼損状況 2 (配線部分)



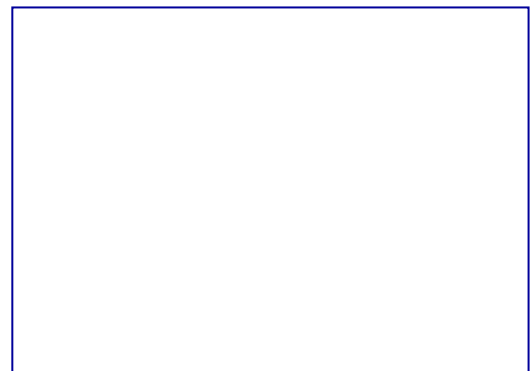
写真③ 焼損状況 3



図① 回路図 (メーカー提供)



写真④ 再現実験 1



写真⑤ 再現実験 2